

助動詞 入門

空欄に適する語句を選びなさい。

- If you are lucky, whales can [] seen from shore.

(名古屋学院大)

- ① be [校正用: true]
- ② is [校正用: false]
- ③ was [校正用: false]
- ④ been [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「運がよければ、海岸からクジラが見えますよ。」

助動詞canのあとは**動詞の原形**がくる。be動詞の場合は原形beを使う。本問は、助動詞を使った受動態の文で、can be seen「見られることができる」＝「見える」という意味になる。

空欄に適する語句を選びなさい。

- You [] finish the work today. Tomorrow is OK.

(北星学園大)

- ① don't have to [校正用: true]
- ② don't must [校正用: false]
- ③ must [校正用: false]
- ④ need [校正用: false]

解答：①

【設問の解説】

「今日その仕事を終わらせる必要はない。明日でかまわないよ。」

2文目に「明日でいい」とあるので、1文目は「今日終わらせる必要はない」という意味になることがわかる。**don't have to** ～ 「～する必要はない」を使って表す。
 ③ **must**は文意が成り立たない。

空欄に適する語句を選びなさい。

- The ceremony starts at one o'clock. We [] be late.

(北星学園大)

- ① **don't have to** [校正用: false]
- ② **have got to** [校正用: false]
- ③ **must not** [校正用: true]
- ④ **need not** [校正用: false]

解答：③

【設問の解説】

「その式典は1時に始まります。私たちは遅れてはいけません。」

mustと**have to**はどちらも「～しなければならない」と同じ意味を表すが、否定文にすると、意味が異なることに注意。

must not ～ 「～してはいけない」

don't have to ～ 「～する必要はない」

② **have got to** ～ は「～しなければならない」。③ **need not** ～ は「～する必要はない」という意味で、この**need**は助動詞。助動詞**need**はふつう否定文と疑問文でしか使わない。

日本文の意味にあう英文になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

- 彼女の話は本当であるはずがない。
Her story [] be true.

(－)

- ① won't [校正用: false]
- ② can't [校正用: true]
- ③ may not [校正用: false]
- ④ mustn't [校正用: false]

解答：②

【設問の解説】

助動詞canには「～することができる」（能力・可能）のほかに、「～してもよい」（許可）、「～することがありうる」（可能性）などがある。本問は、否定形 cannot [can't] で「～のはずがない」という否定の確信を表す用法。

日本文の意味にあう英文になるように、空欄に適する語句を選びなさい。

- 部屋に入ったら、帽子をぬいだほうがいい。
When you enter the room, you [] take off your cap.

(－)

- ① had to [校正用: false]
- ② used to [校正用: false]
- ③ mustn't [校正用: false]
- ④ should [校正用: true]

解答：④

【設問の解説】

助動詞の意味をしっかりと覚えて、きちんと使いわけられるようにしておこう。

- ① had to ～ 「～しなければならなかった」
(= have to ～ の過去形)
- ② used to ～ 「よく～したものだ」
- ③ mustn't [must not] ～ 「～してはいけない」
- ④ should ～ 「～すべきだ」 = ought to ～

ここに参考書リンクが入ります